

# 「コ・ダイニングオフィス」登場

## 働く仲間と食事を楽しむオフィス

ブルースタジオ

東京都台東区に「コ・ダイニングオフィス」が誕生した。これは、「働く仲間同士がいつでもテーブルを囲んで食事を楽しむ」というコンセプトのシェアオフィスだ。物件をプロデュースしたブルースタジオ（東京都中野区）の大島芳彦専務取締役が話を聞いた。

### 船のデッキ風に

物件名は「Bar & パルク」SHINJO BL DG」。レターセットなど



大島芳彦  
専務取締役

の紙雑貨を製造する真削（大阪府大阪市）が社宅兼倉庫として所有していた。築46年、4階建て鉄筋コンクリート造の建物。全面改修。3階が1〜4人利用するシェアオフィス、2階と3階の二部と4階すべてがレンタルオフィスとなっている。デザインコンセプトは、「セーヌ川に浮かぶペンシッシュ（ハウスボート）」。

最大の魅力は質実な共

用部。2階には船のデッキをイメージした共用フ

ンシッシュを用意。キッチンと大きなテーブルが設置されており、自分たちで用意した食事を楽しむことができる。壁面の一部にはクッション材が敷き詰められた小上がりを設置。靴を脱いで座ったり、寝転がりしてくつろげるようになっていた。

また、感染して設けたウッドデッキのバルコニー

は、開放的な空間でくつろげるといっただけでなく、フワフワの肌触りやかな活気を通りに伝えるという意図がある。

### ビストロが併設

さらに、1階には、真削が監修するビストロ「L E PÂTISSIER GARÇON」を併設。入居者が食事を楽しむだけでなく、近隣住民の交流の場となり、街に活気をもたらす狙いもある。

シェアは同社の社長の様子で、物件のオーナー



▲2階共用ダイニング



▲2階共用ダイニング

## 築46年社宅を再生



▲建物の顔はビルオーナーが運営する1階のフレンチビストロ食堂



▲1階フレンチビストロ食堂



「この辺りはかつて府遊びが盛んな土地柄だったことから『ペンシッシュ』をイメージしました。夜は人気がなくなり、もの寂しい閑静な街を明るく照らすような存在になってほしい」（大島専務取締役）



▲ワークスペース